

# OSHU

広報おうしゅう

2026

4  
Apr.

ふるさともっと好きになる みんなとまちを結ぶ広報誌

vol.241



【特集】 地域への思いをカタチに


## 協働のまちづくりアカデミー

- 04 【特集】地域への思いをカタチに  
協働のまちづくりアカデミー
- 10 【特集】新たな奥州大使が始動
- 12 【グラフ】第40回奥州胆沢劇場  
しるし半纏ぼんてん
- 14 OSHUまちdiary
- 16 地域おこし協力タイムス
- 17 市民のお便り  
クイズ奥州おもしろ学  
きくちゃんの方言講座
- 18 暮らしのおくりもの  
ハッピーファーストバースデー
- 19 ハロー！ピュアスマイル+  
学生スナップVOICE
- 20 図書館だより  
休日・夜間診療
- 21 ミュージアムへ行こう  
健康づくりインフォメーション
- 22 インフォメーション
- 28 キラリ、輝く奥州人



皆さんがInstagramに投稿した  
すてきな写真を紹介します。

- 1 narutohime さん  
武家住宅資料館 🏯 タイムス  
リップした気分になれます ✨
- 2 neconotoshokan さん  
猫ノ図書館(胆沢図書館)の9周年 🐱  
むぎ館長もうれしそう ❤️
- 3 tosamadakufu さん  
雪遊びにニコニコ 😄 こちら  
も笑顔になりますね 😊

 **Instagram アカウント**  
@oshu\_city



毎月月末までに投稿いただいた写真の中から3枚を選び、翌月発行の広報誌に掲載します。  
最優秀賞(一番大きいサイズで掲載)の人には、図書カード500円分をプレゼント！  
皆さんのすてきな投稿をお待ちしています。

**【応募方法】**

- ①奥州市公式Instagram アカウントをフォロー
- ②[#oshufan]を付けて投稿。過去に撮影したものでも応募できます

**【注意事項】**▷アカウントが非公開の場合は対象外となります。▷写真を複数枚投稿している場合は、1枚のみ掲載します。▷正方形(スクエア)での掲載になります。縦長・横長の写真はトリミングします。▷掲載が決定した人にはDMでご連絡します。投稿写真の元データを広報担当宛てにメールでお送りください。最優秀賞の受賞者には住所と氏名も伺います(図書カードの送付以外の目的には使用しません)。返信いただけ

ない場合は掲載を取りやめる場合があります。▷公に撮影可能な場所(立ち入り禁止区域ではない場所)で撮影した写真を投稿してください。▷投稿写真は応募者本人が撮影し、全ての著作権を有するものに限り、▷明確に人物が映っている写真を投稿する場合は、事前にその人の了承を得てください。▷本投稿の中で、肖像権や著作権などの第三者の権利侵害があった場合、奥州市は一切責任を負いません。

**Cover Photo** 表紙の写真



つながる人の輪

3月15日、江刺総合支所で「協働のまちづくりフォーラム」が開催されました。本年度の協働のまちづくりアカデミー(第11期)は7人が受講。座学でまちづくりの知識を学び、地域課題解決を目指した実践活動に取り組みました。フォーラムでは、その活動を報告。つながりが生んだ成果を堂々と発表しました。本事業の詳細は、特集(4頁〜)をご覧ください。

ホームページや各種SNSで市の情報を配信中!


右記QRコードを読み取りアクセスしてください。

 **奥州市ホームページ**  
<https://www.city.oshu.iwate.jp/>

 **エックス(旧ツイッター)**  
@oshu\_city

 **フェイスブック**  
@oshu\_city



 **市民生活総合支援アプリ「ぼちっと奥州」**

スマートフォンやタブレットなどで防災やごみ、暮らし・健康の情報など、市民にとって身近な情報に簡単にアクセスすることができます。ぜひご利用ください。




時 日時	期 期間
所 場所	内 内容
対 対象	定 定員
料 料金	持 持ち物
講 講師	申 申し込み
他 その他	問 問い合わせ
ID HP・ID 検索用	

**ラジオ**

奥州エフエム放送(77.8MHz)で  
市政情報を配信中!!

▶「おうしゅう伝言板」  
月~金 / ①8時15分 ②12時42分  
③17時54分

 **奥州市の人口**  
2月28日現在

人口	105,859人 (-143)
男	51,749人 (-69)
女	54,110人 (-74)
世帯数	46,709世帯 (-14)

※( )内は先月比

INTERVIEW



第11期修了生  
菅野 郁弥 さん  
(振興会推薦 (一社)いであい)

意見を交わし地域を考える  
若者の声をまちづくりへ

アカデミーの魅力は、参加者それぞれが持つ視点や経験を持ち寄り、意見を交わせることだと感じています。特に、若い世代の意見が大切だと実感しました。高校生などの若者が参加しやすい環境をつくることは、私たちの年代に求められている使命です。悩んでいる人は、まず一歩を踏み出してみてください。

分野や年代を超えて  
仲間との出会いが財産に

アカデミー修了生である上司の勧めで参加しました。仕事にも通じるまちづくりを、知識と実践の両面から学ぶことができました。さまざまな分野や年代の仲間と出会い、人とのつながりが広がったことも大きな収穫です。まちづくりの楽しさを共有できる仲間ができ、今でも連絡を取り合うなど交流が続いています。



第9期修了生  
千葉 泉水 さん  
(市社会福祉協議会)



第7期修了生  
阿部 高志 さん  
(有)阿部製材所)

地域を思う気持ちを形に  
経験から広がる視点

地域が良くならなければ自分たちの暮らしも良くなれないという思いから、これまで地域活動に関わってきました。現在行っている「木育」の活動は、自分の仕事と地域への思いが重なり生まれたものです。地域の課題や思いを形にしていこうという点で、アカデミーでの学びは現在の活動に生かされていると感じます。

令和7年度のカリキュラム		
5～7月	開講式	人口減少時代の地域づくり (講義)
	第2講	地域づくりの手法と方法 (講義)
	第3講	ファシリテーターの役割 (講義・演習)
	第4講	話し合いの仕方 (講義・演習)
	第5・6講	事業の具体化 (ワークショップ)
	第7講	企画書の作成 (ワークショップ)
	第8講	地域課題解決のための資金調達的手法 (講義)
7～12月	地域課題解決のための実践活動	
2月	プレゼンテーション指導会	
3月	成果発表会・修了式	



地域への思いをカタチに

協働のまちづくりアカデミー

市は、協働のまちづくりを推進する担い手の育成を目的に「協働のまちづくりアカデミー」を行っています。平成25年から始まり、令和7年度で11期目を迎えました。今回は、地域を舞台にした取り組みと今後の活動についてご紹介します。  
☎ 本庁地域づくり推進課 (☎34-1618) 📠 15912

過去に取り組んだ実践活動

▶ 奥州・はんと  
親子で楽しむ食とスポーツのコラボイベント。郷土料理「奥州はっと」作りやスカットボールなどのニュースポーツを体験



料理体験で交流を深める

▶ 『奥州にございや』みんな大好きおうしゅうたろう  
市公式マスコットキャラクター「おうしゅうたろう」を活用したPR活動。ワークショップを開催



クッキー作りに夢中な親子

▶ おかえり奥州  
廃校舎になった旧木細工小学校の校舎を開放。授業形式でのイベントや地域の食材を使った「ふるさと給食」を提供



廃校舎で地域の魅力を再発見

**地域の持続的発展のために**  
人口減少や少子高齢化が進む中、市では地域を持続的に発展させるため、人づくりに取り組んできました。その一つが「協働のまちづくりアカデミー」(以下、アカデミー)です。地域の将来を見据え、地域コミュニティや市民公益活動団体の育成と自立を目指し、「協働のまちづくり」の担い手を育成する事業です。これまでに市民活動団体や地区振興会の役員をはじめ、自営業者、会社員、学生など、幅広い市民が受講しています。中には「仲間づくり」「人前で話せるようになりたい」など、自身のスキルアップを目的に受講する人もいます。

**地域で活躍する修了生**  
現在、150人の修了生がさまざまな分野で活躍しています。「アカデミーで得られたつながりが財産」という声も多く、その強みを生かして修了生が中心となり企画・運営している「奥州つながるフェスタ」は、多くの市民が参加する大きなイベントとなっています。修了生の多様な活動が、市の活力を生み出しています。

※地域課題の解決や社会貢献を目的に、市民が自主的・自発的に非営利で活動する団体



## 地域で実践的に学ぶフィールドワーク

受講生の前向きな思いを受け、実際にまちづくり活動に参加しながら実践的に心構えや段取りを学ぶことのできる「フィールドワーク編」を開催しました。フィールドワークには、2日間の講義を修了した受講生のうち4人が参加。昨年12月に江刺愛宕地区センターで行われたアカデミー11期生の活動に加わりました。メンバーとの打ち合わせに参加する傍ら、自分たちでも時間を見つけて話し合いを重ね、親子で楽しむことのできるレクリエーションの一部を企画・運営しました。受講生の企画は、親子の絆を育み、参加者同士の交流を促すきっかけに。当日は、高校生が子どもたちを元気に引っ張る姿が見られ、奥州市の輝かしい未来を感じさせました。

1 フィールドワーク編に参加した高校生 2 打ち合わせは和気あいあいとした雰囲気で行われ、楽しそうに活動する姿が見られた 3 受講生の企画を体験する参加者。すぐに打ち解け、和やかな交流が生まれた



## JUNIOR INTERVIEW



### 参加前後で印象が激変 地域愛の醸成につながる

菅原 彩乃 さん (岩谷堂高校2年)

参加前の地域づくりのイメージは「建設・施設整備」など堅い印象でした。講義やフィールドワークなどを通じて、人とのつながりなどで地域が変化することを知り、視野が広がったと思います。受講後は地元への愛着が湧きました。授業などで学んだ知識を生かしていきたいです。



### 小さな一歩で地域が変化 地域の関心が高まった

内田 信吾 さん (水沢高校1年)

僕の好きな地理をまちづくりに生かしたいと思い参加しました。特に印象に残っているのは、講師の「小さな一歩を踏み出すことで地域が変わる」という言葉です。今回の受講で地域への興味関心を深めることができました。これからは地理を生かしたまちづくりを考えていきたいです。



### 地域を考える機会は新鮮 挑戦する大切さも学ぶ

佐藤 麻優 さん (水沢第一高校2年)

参加した2日間は、地域を考える機会が多く、とても新鮮でした。中でも、理想のまちづくりを考えて事業を企画する課題は難しかったです。また、前向きに挑戦していくことの大切さも学びました。今後はさまざまなことに挑戦していきたいです。

**まちづくりを探究する2日間**  
令和7年度のジュニアは2日間開催され、市内の高校に通う10人の生徒が受講しました。講師は、県内で若者活躍支援などの活動に取り組み、NPO法人いわて連携復興センターの川原直也さん。1日目は、直也さんによる講義と市内で活動する人々の事例紹介を聴きました。より良い地域をつくるためにまちづくりが重要であることや若者が参画する意義を学び、NPO法人や地区振興会、地域おこし協力隊など、さまざまな

**中高生版アカデミー始動**  
令和6年度には、初めて高校生がアカデミーを受講しました。しかし、年間を通じたカリキュラムは「学校生活との両立が難しい」という意見がありました。これを受け、高校生がより気軽にまちづくりについて学び、考えられる機会をつくるため、令和7年度から「協働のまちづくりアカデミージュニア」(以下、ジュニア)がスタートしました。

**地域愛とまちづくりへの参画意識が向上**  
2日間の講義を通じて、受講生からは「今まで知らなかった地域の活動に触れ、奥州市がもっと好きになった」「自分もまちづくり活動に参加したい」といった声に寄せられました。また、受講後のアンケートを比較したところ、受講生全体の地域愛やまちづくりへの参画意識が一層高まる結果となりました。

人がまちづくりに関わっていることへの理解を深めました。2日目は、自分の好きなことを出発点に、身近な人や地域の困り事を解決するための企画を検討。プラモデル作りが趣味の受講生は、高齢者の認知症予防と地域の歴史伝承を目的としたジオラマ制作事業を立案するなど、想像力豊かなアイデアが発表されました。また、企画の実現に向けた活動目標も共有。「まずは関連分野のボランティア活動に参加する!」など、まちと関わる最初の一步を宣言しました。

# 特別対談

～ SPECIAL TALK ～

まちづくりの魅力とは――



広田 純一 さん

岩手大学農学部名誉教授。在学中にNPO法人いわて地域づくり支援センターを設立し、現在も県内外の地域づくりの現場をサポートしている。

佐藤 永匡 さん

アカデミー第1期修了生。「ちーむやなぎ（仮）」の代表として地元を盛り上げる。花火師の資格を持ち、市内各地の花火の打ち上げにも携わる。

**佐藤** 私は『地域に恩返しするよ  
うな気持ちで行う事業』だと思  
います。現在は参加者に楽しんでも  
らえるイベントなどを開催して、  
地域を盛り上げています。  
――佐藤さんはアカデミー修了後、  
地元の真城地区で新たな活動を始  
められたんですね

**佐藤** アカデミー受講後、学んだ  
地域づくりの経験を生かせないか  
と考えていました。地域の皆さん  
が背中を押してくれて始まったの  
が、「ちーむやなぎ（仮）」です。  
ピアガーデンや映画鑑賞会などの  
イベントを初開催したほか、他地  
区の団体と交流してスキルアップ  
できる機会を設けました。また、  
地域に住む10代の若者も多く参加  
してくれるのが特徴ですね。受講  
していなければ、団体を立ち上げ  
ることはなかったと思います。



2

**広田** 永匡さんはアカデミー修了  
生をつなぎ「まちアカプラス」を  
立ち上げたと聞いています。受講  
がきっかけで、修了後も地域の皆  
さんとコミュニティを築き、つ  
ながりを広げているのはすごいと  
思います。

**佐藤** 毎年、まちアカプラスのメ  
ンバーが中心となって「つながる  
フェスタ」を開催しています。企  
画する前は市民団体同士が交流す  
る場はほぼありませんでした。イ  
ベントがきっかけで  
新たな発見があった  
り、コラボ事業につ  
ながったりするなど、  
新たな輪が広がる場  
でもあります。また、  
一般開放もしている  
ので、会場を訪れた



3

1\_アカデミー第1期生として発表  
する当時の永匡さん 2\_アカデ  
ミーでの経験を生かし、産直来夢  
くんを会場に映画鑑賞会を開催  
3\_令和7年度の「つながるフェス  
タ」には市内外から約430人が来場

アカデミーの講師を務める広田  
純一さんと、アカデミー第1期生  
で修了生のコミュニティ・協働  
のまちづくりアカデミー+α（以  
下、まちアカプラス）の代表を務  
める佐藤永匡さん。奥州のまちづ  
くり最前線に立つ二人に、地域づ  
くりの魅力や来年度の受講生へ向  
けたメッセージをお聞きしました。  
（取材日：令和8年2月12日）

――二人の出会いはいつですか？

**広田** 平成25年のアカデミー第1  
期生が初めましてでした。かれこ  
れ10年以上の付き合いですね。

**佐藤** その後もイベントなどで  
度々お会いしています。当時教え  
ていただいたことは、今も大切に  
していますね。

――二人が考える「市民活動」は  
どのようなものですか？

**広田** 市民自らが企画し、実践す  
る活動で『社会や誰かの役に立つ  
ようなもの』でしょうか。アカデ  
ミーでは、受講生自らがイベン  
トなどを企画し、受講期間中にそれ  
を実践してもらいます。いわば、  
市民活動を疑似体験してもらうと  
いうわけです。

市民は、興味がある団体と気軽に  
つながれることも、開催目的の一  
つになっています。

――アカデミーの活動に興味があ  
る人へメッセージをお願いします

**広田** 「何か自分たちでやってみ  
たい」という思いがある人はぜひ  
受講してほしいです。講義ではま  
ちづくりの基礎を学ぶことができ  
るほか、受講生同士の新たな交流  
も生まれます。一緒に奥州市を盛  
り上げていきましょう。

**佐藤** アカデミーは未来の奥州市  
を支える「宝」だと思っています。  
市民活動をする土壌がこの地には  
あり、これまで10年以上続けてく  
ることができました。素晴らしい  
講師はじめ、サポートする体制も  
整っています。地域を舞台に楽し  
いチャレンジをしたいという人に  
おすすめです。

## ＝ 令和8年度協働のまちづくりアカデミー受講生(第12期) 募集中! ＝

**期** 令和8年4月～令和9年3月

**所** 江刺生涯学習センター ほか

**対** 市内在住の50歳未満の人、市に転入を予定している人、  
住居地にかかわらず市内で活動する人など

**定** 20人(先着順) **料** 無料(交流会参加費・交通費別途)

**申** 4月16日(日)17時までに、問い合わせ先または各総合  
支所で配布する申請書(市ホームページにも掲載)に必要事  
項を記入の上、提出



協働のまちづくりフォーラム終了後の記念写真

## 修了生のつながりが広げる地域づくり

「まちアカプラス」は、アカデミー修了生のネットワークとし  
て生まれました。修了生同士が気軽につながり、交流できる場  
として活動が続いています。団体ではなく、自由に参加できる  
コミュニティであることが特徴です。独自事業のほか、イベ  
ント情報の共有やボランティアの呼びかけなど、修了生のネッ  
トワークはさまざまな場面で生かされています。今後は、地域  
おこし協力隊など地域課題に取り組む人たちとつながり、活動  
の輪を広げていきたいと考えています。



まちアカプラス事務局  
(第1期修了生)  
菅野 陽子 さん

# 【特集】新たな奥州大使が始動 市の魅力を全国に発信

昨年11月から新たに奥州大使に加わった高橋和生さんと岡野真吾さん。  
今回は、本市の魅力や情報を広くPRしていただくお二人の対談を特別に企画しました。  
岡野さんが都内で経営する飲食店を会場に、市への思いや今後の活動について伺いました。

## 奥州市との出会い

——お二人が市と深く関わることになったきっかけをお聞かせください。  
**高橋** 私の場合、奥州市で過ごした11年間は本当に特別なものでした。両親の仕事の関係で、小学2年で水沢に転校しました。最初は緊張し、人前に出るのも恥ずかしかったのですが、同級生に誘われて水沢の野球クラブに参加し、自信を持つことができました。監督は世界大会に向けた大きな目標を持っていて、挑戦の大切さを教わったことが、今のオリンピックを目指すきっかけになったと思います。野球を通じて学んだ経験は、私の中でかけがえない時間でした。まさに水沢で人生をデビューさせてもらった感じです。  
**岡野** 私がお店を始めたのは30年前で、ちょうど高橋選手の誕生年と同じです。平成8年に開業し、その頃は新潟県のお米を使っていましたが、あるお米屋さんのおかげで岩手県のひとつめぼれという品種に出会い、お店で使うようになりました。使い続けるうちにそのお米の安定したおいしさの理由が気になり、産地に行ってみることにしました。最初はフア

クスを送り、地元の方々と連絡を取り合いました。そのうち、地元の生産者や農協の人たちと話せるようになり、毎年の収穫祭にも招いてもらえるようになりました。地元の人に受け入れられることがとても重要だと考えています。

## 奥州市は魅力の宝庫

——市の良いところ、好きなところはどこですか？  
**高橋** 小学生の頃は、胆沢川のすぐそばにある野球クラブのグラウンドが本当に特別な場所でした。土日の練習日は朝9時から夕方5時まで練習に明け暮れ、その帰りに、道の駅でソフトクリームを食べるのが楽しみでした。豊かな自然の中で四季を感じながら過ごせることが、奥州市の魅力です。また、奥州市の人たちの温かい人柄も大きな魅力です。今回のオリンピック出場に当たっても、奥州市の皆さまの応援が励みになっています。  
**岡野** 私は特に岩手県の空気感が好きです。奥州市で感じる空気は本当に澄んでいて、そこで生まれるお米も一段とおいしく感じます。奥州市

## 市民へのメッセージ

——市民の皆さんへ向けて、奥州大使としてのメッセージや意気込みなどをお聞かせください。  
**高橋** 国内外で競技活動をする中で、この魅力あふれる奥州市をPRしていきます。また、陸上教室などを通じて、子どもたちと触れ合いながら陸上競技の魅力を伝える役割も担っていかれると思います。私は「おうしゅうたるう」も好きなので、SNSでおうしゅうたるうを使った情報発信も続けていこうと考えています。  
**岡野** 生産者の皆さんには、おいしいお米を作り続けていただき、感謝しています。気候変動やさまざまな困難にもかかわらず、良い米を生産するのは本当に素晴らしいことです。市民の皆さんにも自信を持って奥州のお米を食べ続けてほしいと願っています。日本最高峰のおいしさを誇るお米の産地として、今後も国内外で奥州市を紹介し続けていきます。

## special talk

### 岡野真吾さん

有限会社 田んぼ  
代表取締役

7年間の証券会社勤務を経て平成8年にごはん専門店「おひつ膳田んぼ」を創業し、市産米を使用。20年前から市に通い、生産者やJAを中心に交流を深めている。跡呂井田んぼアートに出会い、自らも新潟県で12年前から田んぼアートを主催。全国田んぼアート連絡協議会の会長も務める。

※各奥州大使のインタビュー動画を市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください



### 高橋和生さん

陸上競歩競技  
日本代表選手

パリオリンピック競歩出場選手。高校生まで市内で過ごし、陸上競技に没頭する。高校から始めた競歩競技でインターハイで3位入賞。現在は社会人選手として活躍する。岩手に帰省する際は、地元の友達と集まるのが恒例。趣味は温泉で、シーズンオフに市内の温泉を巡るのが楽しみ。

# 第四十回奥州胆沢劇場

# しるし半纏



40回という長い歴史を刻んだ「奥州胆沢劇場」——。記念すべき節目の公演「しるし半纏」が2月22日、胆沢文化創造センターで上演されました。同劇場のこれまでの歩みと、当日の様子をご紹介します。

思いをつなぐ節目の舞台

奥州胆沢劇場は、1985年3月の胆沢町民劇場「大堤の笛の音」を皮切りに、多くの拍手に支えられながらその歩みを重ねてきました。第一回の公演場所は胆沢町民総合体育館（現・胆沢総合体育館）。町民劇場を上演する文化会館への期待が高まり、1991年に胆沢文化創造センターが建設されました。スタッフやキャストをはじめ、多くの関係者が一丸となって作りあげる舞台は、東日本大震災やコロナ禍による延期の年も乗り越え、記念すべき40回目の節目を迎えました。

今回のテーマは「承継」。地元根差した消防団の存在意義や団員同士の絆、消防半纏を受け継ぐ次世代の担い手に託す思いが描かれ、約650人の来場者を感動の渦に包みました。

胆沢を題材とした手作り舞台として親しまれている「奥州胆沢劇場」。町民劇場への情熱の火は赤々と燃え続け、さらなる歴史を紡いでいきます。

## 「しるし半纏」STORY 消防魂の承継

舞台は昭和40年代。青年・吾郎は勧誘を受けて消防団に入団し、訓練などを通して仲間との絆を深めていく。

そんな中、台風により増水した寿安堰の警戒に出動。部長・昭の命令に従わず独自の判断で行動した結果、大きな被害を招いてしまう。自分を責める吾郎に、昭は自らが身に着けている吾郎の祖父から受け継いだ半纏に込められた思いを語り、「初心を忘れるな」と励ました。

ある夜、吾郎の近所で火災が発生。逃げ遅れた子どもを救出するため、吾郎と共に火の中へ飛び込んだ昭は帰らぬ人となる。半纏は志とともに受け継がれ、次の時代へと息づいていくのであった——。



1 東京で挫折し帰郷した吾郎。消防団の勧誘を受け、仕方なく入団することに  
2 操法訓練や消防活動を通じて、団員たちとの絆が深まっていく  
3 消防団への入団を目指す子どもに夢を与える吾郎  
4 火災が発生。火の中へ飛び込むが、昭が大やけどを負ってしまう  
5 逃げ遅れた子どもの救助を優先させるため、吾郎にげきを飛ばす昭  
6 昭の死に、家族と団員たちは悲しみに包まれた  
7 受け継いだ半纏を身にまとい、新たな気持ちで活動をしていく  
8 キャスト・スタッフ総勢約70人で臨んだ舞台。花束と惜しめない拍手が送られた

第四十回 しるし半纏

奥州胆沢劇場  
令和八年  
二月二十二日公演

2/20 市合併20周年記念特別給食  
地元食材で祝う市制20周年

市合併20周年を記念し、地元食材を使った特別給食が市内全ての小中学校で振る舞われました。若柳小学校では前沢牛生産者の安倍諒さんから牛の育て方などを教わった後、2年生19人が前沢牛ステーキや春の輝きサラダなどを堪能。児童たちは、地元の恵みをおいしく味わいながら、市の合併20周年をお祝いしました。  
(インターンシップ生：熊谷悠花 撮影・執筆)



おいそいな特別給食に笑顔がこぼれる児童

2/21 牛の博物館リニューアルオープン  
世界初の剥製を新たに展示

前沢にある牛の博物館が開館30周年に合わせてリニューアルオープンしました。1階の展示室を地域の魅力にクローズアップした新コーナー「岩手の畜牛文化」としてリニューアル。令和7年度日本一となった前沢牛生産者の表彰盾や、世界初となる日本短角種の剥製が常設展示に加わりました。来館者はこの地に古くから関わってきた牛の歴史や魅力に思いをはせていました。



日本短角種の剥製に見入る来館者

2/21▶22 奥州はっとたべくらべ  
郷土料理の魅力を再確認

メイプルトライアル活用事業に合わせ、奥州はっと軒連会が主催するイベント「奥州はっとたべくらべ」がメイプル1階の特設会場で行われました。市内で奥州はっとを提供する店舗が、独自の味付けを施したメニューの振る舞いを2日間にわたり実施。試食した多くの家族連れなどは普段あまり食べることがない奥州はっとを堪能し、郷土料理の魅力を再確認していました。



振る舞われた各ブースは行列ができるほどの人気ぶり

2/23 おうしゅう探究フェスタ2026  
高校生の探究成果一堂に

市内の高校生が探究学習の成果を発表する「おうしゅう探究フェスタ2026」が水沢地区センターで開催されました。市内の高校生13グループが参加し、15分の持ち時間の中で、それぞれが活動してきた研究の成果を披露。発表者は他の生徒からの質問に答えたり、探究活動サポーターからアドバイスを受けたりしながら学びを深め、今後の探究学習の参考にしていました。



発表後は一般参加者との意見交換が活発に行われた

2/6 食品業界エキスパートセミナー  
生産性向上のヒントを学ぶ

食品工場における生産性向上の取り組みや改善活動のヒントを学ぶ「食品業界エキスパートセミナー」が市鑄物技術交流センターで開催されました。講師に県工業技術センターの晴山聖一さんを迎え、製造工程で発生するロスや無駄の要因と改善手法などを学習。参加した12人の食品製造事業者などは、自社に活用できる効率的な生産体制づくりへの理解を深めていました。



スライドを使った説明に耳を傾ける参加者たち

2/14 第1回衣里雪まつり  
地区センターに巨大雪像出現

衣里雪まつり実行委員会が主催する「衣里雪まつり」が衣里地区センターで行われました。当日は気温が10度を超える中、児童27人が参加。会場に設置された約2m四方の雪柱を削り、汗ばみながら三基の雪像を完成させました。雪像製作後には郷土料理の「はっとう汁」作りにも挑戦。参加者たちは互いに協力して作業に取り組み、冬の祭りを堪能していました。



完成した雪像と一緒に記念撮影する参加者たち

2/15 第25回奥州前沢劇場「螢の歌」  
子役たちの演技光る感動劇

奥州前沢劇場が前沢ふれあいセンターで開催されました。今回の演目「螢の歌」は前沢を舞台とした現代劇。病気の療養で前沢を訪れた小学5年生の貴史が、ホテルを通して友情と家族愛を育む物語です。当日は午前・午後の2回公演で、およそ800人もの市民らが来場。出演者・スタッフが数カ月にわたる稽古の成果を披露し、観客からは惜しめない拍手が送られました。



ホテルが住む環境を守ることを誓う小学生たち

2/15 2026奥州スノーフェスティバル  
白銀のコースを舞台に熱戦

(一社)市スポーツ協会などが主催する「2026奥州スノーフェスティバル」が国見平スキー場で開催されました。当日は10代から70代までの約40人が参加。男女年代別でスキーとスノーボードの部門に分かれ、白銀のコースを舞台に熱戦を繰り広げました。参加者たちは巧みな身のこなしでゴールまで滑走。日頃の練習の成果を発揮して、好タイムをたたき出していました。



コースを全速力で駆け抜ける参加者

# 地域おこし協力タイムス

協力隊として活動する様子や地域との関わり合いなどを紹介します

## 農家を目指す地域おこし協力隊！ 山口みなみと高橋愛のお茶っこしましろう

昨年度から市内で活動しているお二人に、農業に懸ける思いなどを語っていただきました。

——どうして奥州市の地域おこし協力隊になったのですか？

**高橋** 東京で生活していて、ここ最近おいしいトマトやキュウリに出合うのがすごく難しく



農業の話に花が咲く両隊員(右から山口みなみさん、高橋愛さん)

なってきたと感じていました。「それなら自分で作っちゃおう！」と農家を目指すことになりましたが、そのタイミングで奥州市が農家を目指す地域おこし協力隊を募集しているのを知って、サポートをしてくれるなら心強いなと思って応募しました。それに、息子の将来の夢が農家だし、小さい頃から訪れていた奥州市が大好きだったのもありましたね。みなみさんは？

**山口** 学生時代は、地域の自然環境について学んで、田んぼの土をテーマに修士論文を書きました。祖父が暮らす胆沢で、幼少の頃から長期休みを過ごしていて、散居集落とエグネといった胆沢の風景を見たり、土を触ったりするのが大好きだったんです。勉強や研究対象への興味関心を持つきっかけになった場所で農家として暮らせたら、こんなに最高のことはないや」と思っ、奥州市の協力隊に応募しました！

——着任して約1年、やってみたいですか？

**山口** 研修先での作業を通して、「人の手でやるって、こういうことなんだな」と改めて感じます。作業内容やかけた時間が、直接結果として表れるのを目の当たりにしたことは、大きな発見です。物が作られる過程や背景を想像するようにはしていましたが、実際に体験したことで、農業に限らず身の回りで新たな物が生まれるまでを捉える解像度が上がりました。

**高橋** 分かる気がします。私も東京の会社で働いていた時に企画を立てて実行するという、生み出す仕事をしていただけで、こちらにきて本当の「生み出す」を知ったという感覚があります。苗を土に植え、育てて収穫して——という農家の仕事には本当にやりがいがあります。



——これからどうしますか？

**山口** 協力隊の任期は3年で、2028年に独立就農を目指しています。2年目の今年には自分でピーマンを栽培しようと思っています。奥州市の生活を私目で伝えていくポッドキャスト「みいっぴの日報」でも栽培の経過を配信するので、これを読んでくださる皆さんに、ぜひ聞いてほしいです！

**高橋** 昨年はトマトとキュウリの栽培を、まずはやってみるという段階だったので、今年は水やりなど栽培管理の面で師匠の技を完璧に盗みたいと思っています(笑)。

◇お二人の活動の詳細はSNSで紹介しています。ぜひご覧ください



山口隊員のポッドキャスト・Instagram



高橋隊員のInstagram

※屋敷の北側と西側に植えられ、冬の季節風から家屋を守る防風林

## 市民のお便り



「クイズ奥州おもしろ学の回答とともに寄せられたご意見などを紹介します(12〜1月分)」

■毎年、子どもたちの笑顔であふれる表紙を楽しみにしています。先月出産したので、来年はわが子の写真も応募したいと思います！  
(F・Rさん・水沢)

■今年はしばらくぶりの雪ですね。子どもの頃の雪はこんなものではなかったように思います。ゆづけ(長靴)をはいて学校に行きました。  
(O・Tさん・江刺)

■八戸から2年前に引っ越してきました。祭りは少ない印象ですが、いろいろな情報が入っていて、良い広報誌だと思いました。  
(T・Kさん・水沢)

■新年号らしく、前向きで温かい気持ちになれる内容でした。市の取り組みや地域の話題が分かりやすく紹介されていて、改めて奥州市の良さを感じました。  
(S・Mさん・水沢)

■就職を機に奥州市を離れて暮らしていますが、広報おもしろ学を読むと地元近況を知ることができ、懐かしい気持ちになります。  
(S・Mさん・市外)

■亡くなった姑は斎藤實氏の奥さまについて話すことがありました。若かったので聞き流していましたが、今思えばもっと話を聞いておけば良かったと実感しています。  
(W・Mさん・水沢)

■週末に急に体調を崩した時、広報おもしろ学の休日・夜間診療ページを見て、治療を受けることができました。  
(O・Sさん・水沢)

■「おもしろ学」が広報の中にもあるとニヤマリしてしまいました。そして、ついに！わが家にもたらうがやって来ました！  
(S・Mさん・胆沢)

※誌面の都合で一部を抜粋している場合があります。ご了承ください。

## 今月の方言 【えんつこ】

昔々農作業時に乳児を入れた、わらで編んだ深い籠。餅やご飯の保存にも使用。語源は《えいじこ籠なま》が訛って【えんつこ】。主に東北太平洋側で使われ、日本海側では《飯詰籠いづめこ》といわれています。寒さよけ・転倒防止の役割を担い、子守りの道具でありながら、暮らしの中で役目を変える働きものでした。

現在は、民族資料館などで「昔の働く道具」として保存・展示されています。宮城県南には「えじこホール」という愛称の文化施設があり、今も地域に根付いた方言が残されていてとてもうれしく思います。

【参考】とうほく方言の泉



## クイズ奥州 おもしろ学

作成協力：(特非)奥州おもしろ学



12問目 Q 昭和22年から昭和25年まで放送された、ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」のモチーフになった建物の名前は何でしょう？

- 1. 旧江刺病院
- 2. 旧岩谷堂共立病院
- 3. 旧奥州病院
- 4. 旧胆沢病院



※先月の答えは「3. あんかけうどん」でした

### 応募方法

毎月、正解者の中から抽選で1人に図書カード500円分を差し上げます。奮ってご応募ください。

■①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号、⑦広報誌の感想や最近のエピソードなどを記入し、4月22日頃までに、はがきやメール、ホームページで応募

※お寄せいただいたご意見などは、イニシャルと地域名を記載して、広報誌に掲載する場合があります

■本庁未来羅針盤課「クイズ奥州おもしろ学」担当(☎34-2126、☎023-8501 ※住所記載不要、✉kouhou@city.oshu.iwate.jp)



このコーナーは生活に根付く風土の魅力や季節の移ろいとともに紹介します。

私にとっての「くらしのおくりもの」

この回をもちまして「くらしのおくりもの」の連載は終了となります。拙い文でしたが、自分なりに感じた東北で暮らすことの魅力を届ける貴重な機会をただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

岩手に移住してまもなく8年。それでもまだまだ岩手は知らないことだらけです。好奇心旺盛人間な私は8年たつ今でも変わらず、岩手での暮らしから生まれた知恵や文化を経験することを楽しんでいます。

ただ、環境の変化や時間の流れとともに生活スタイルも変わり、便利になると同時に、手間暇をかけた人間らしい営みが減っていることも事実です。もちろん古い習慣を無理に残す必要はないけれど、自分が暮らしている土地に根

付いてきた風土を「知る」「伝える」ことで、地域の本質を紡いでいくこととなり、愛される地域であり続けると私は信じています。

この土地で出会った人・もの・こと全てが私にとっての大切な「くらしのおくりもの」。今までありがとございました。



ハロー!ピュアスマイル+

後藤海鈴さん

常盤小学校 5年

快音響かせ上目指す

5年生の6月、水沢佐倉河剣道スポーツ少年団での体験をきっかけに剣道を始めました。剣道の一番の魅力は技が決まった時の「スパンツ」という音です。得意な技は引き胴で、週2回の練習以外にも家で父に防具を着てもらい練習しています。練習のきいもあり、先日初めての級審査で一気に4級まで進級することができました。とてもうれしかったです。また、剣道を始めてからは礼儀作法をより気を付けるようになり、学校生活でも背筋を伸ばすことを意識しています。試合で1本を取れるように、そして将来初段には合格できるよう、これからもたくさん練習したいです。

※引き胴…つばぜり合いから後ろに下がりながら相手の胴を打つ技



学生スナップ VOICE

・ 今月のお題 ・  
一つだけ魔法が使えるなら何をする

衣川中学校 生徒会役員

- (左から)  
菅原瀬奈さん 2年  
もしできたら学びが深まりそう
- 千葉一輝さん 2年  
まずはどこでもドアを作ります
- 木村優月さん 1年  
世界中に友達をつくり、会いに行きたい



阿部 權真 ちゃん  
令和7年3月7日生まれ (水沢)

元気に大きくなってね！  
父・一希さん  
母・凜華さん

山内 希空 ちゃん  
令和7年3月25日生まれ (水沢)

いっぱい動いてよく笑うのが大好き！元気に大きくなってね！  
父・大樹さん  
母・恵里花さん

小泉 葉琉 ちゃん  
令和7年3月26日生まれ (江刺)

1歳おめでとう！親の背を追い越すくらい元気に育ってください！  
父・陽太さん  
母・花衣さん



ハッピー★ファースト  
バースデー

860



休… 休館日 ¥… 通常入館料

### 今月の一選

ID 3154

#### 菊田一夫記念館 (☎35-9800)



#### 第1回「江刺甚句まつり」関連品

昭和49年に開催された同まつりのポスターと主体を担っていた42歳連「緑西会」の法被です。楽曲「馬喰ばやし」は、江刺が戦前まで馬産地として知られていたことを背景に、「緑西会」が創作しました。馬喰(家畜商)の所作や情緒をイメージした振り付けで、馬の手綱に見立てた「馬喰紐」を使用するのが特徴です。

## 4月の企画展&イベント情報

- 高野長英記念館(☎23-6034) 休毎週月 ¥200円
  - 第1回企画展「水沢の名医高野長閑の本棚～高野家に伝わる資料より～」 期21日(火)～8月23日(日)
  - 企画展解説会 時25日(土)、5月5日(祝)各日13時30分～ ¥無料
  - ※5月5日(祝)は高野長英誕生日のため入館料無料
- 後藤新平記念館(☎25-7870) 休毎週月 ¥200円
  - 新収蔵資料展 期21日(火)～6月14日(日)
  - 企画展解説会 時25日(土)11時～ ¥無料
  - ※13日(土)は後藤新平命日のため開館・入館料無料
- 高野長英記念館、後藤新平記念館、斎藤實記念館
  - ※25日(土)は日高火防祭につき入館料無料
- えさし郷土文化館(☎31-1600) 休無休 ¥400円
  - 企画展「豊臣政権の天下統一と奥州再編」 期25日(土)～7月5日(日)
  - 春の文化館まつり 期5月2日(土)～10日(日) ¥各種体験料のほか入館料が必要 印不要
- 前沢に伝来した金字経断簡の特別公開 期25日(土)～5月10日(日) ¥入館料のみ
- 牛の博物館(☎56-7666) 休毎週月 ¥400円
  - 前沢に伝来した金字経断簡の特別公開 期11日(土)～19日(日) ¥入館料のみ
- 菊田一夫記念館(☎35-9800) 休毎週火 ¥無料
  - 江刺甚句まつり企画展 期25日(土)～5月10日(日)

来て、見て、知って  
**図書館だより**  
ID 5630  
4月の情報

家族みんなで本を読む時間を作ってみませんか？  
毎月4日はよむ日 奥州市 家庭読書の日  
ねえ読んで

【4月の休館日】水沢、江刺、前沢、胆沢＝毎週(土)、29日(祝)  
衣川＝29日(祝)

### 今月は生涯学習スポーツ課 (江刺総合支所・☎34-2497)

#### 各図書館の企画展・イベント情報はホームページから！



各図書館では、本コーナーで紹介しきれない、さまざまな企画展やイベントを開催しています。企画展・イベント情報は、毎月、市図書館ホームページで更新しています。市ホームページ内のID番号検索窓に「5630」と

入力すると検索できますので、ぜひご覧ください。個性あふれる各図書館に「来て、見て、知って」みませんか？  
【企画展】テーマに沿った本の展示を行うもの  
【イベント】読み聞かせ会、映画会、講座など

#### 他の図書館からのお知らせ

- 水沢図書館(☎23-3372)
  - ミニ企画展「住まいのはなし」 期12日(日)まで
- 江刺図書館(☎34-1078)
  - 企画展「緑に囲まれて」 期5月16日(土)まで
- 前沢図書館(☎56-6781)
  - 企画展「春がきた！ 旅にしよう！」 期5月10日(日)まで
- 胆沢図書館(☎46-2133)
  - 企画展(防災コーナー)『東日本大震災「あの日」からの5479日』 期30日(日)まで
- 衣川セミナーハウス図書室(☎52-3900)
  - 企画展「これって青春？」 期14日(火)～28日(火)

## 健康づくりインフォメーション

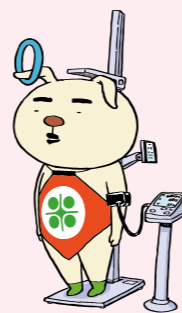
### がん検診の申し込みはお済みですか？



市では、令和8年度各種検診を6月から実施します。提出していただいた「がん検診申込及び状況調査書」(以下「調査書」)を基に、検診関係書類を5月下旬に送付します。調査書の提出が遅れると関係書類の送付も遅れます。未提出の人は速やかに問い合わせ先へ提出してください。また、以下に該当する人はご注意ください。  
**2月以降に転入した人**…転入手続き時に調査書をお渡ししています。書類を基に検診申し込み

と対象者を把握しているため、検診対象者全員の情報を記入した上で問い合わせ先に提出してください。

☎本庁健康増進課(☎34-2903)、各総合支所健康増進担当  
ID15505



## 4月の 休日・夜間診療

**奥州金ヶ崎休日診療所** (水沢字多賀21-1・☎25-3935)  
【診療時間】8:30～12:00、13:30～16:00 ※診療は上記場所  
5日 竹花 教 先生 (竹花乳腺クリニック)  
12日 田村 健 先生 (田村川上医院)  
19日 佐藤 信幸 先生 (さとう整形外科・リウマチ科クリニック)  
26日 千田 正樹 先生 (千田内科クリニック)  
29日 井筒 大人 先生 (美希病院)

**日曜歯科当番医** 【診療時間】9:00～12:00  
5日 なかじま歯科クリニック ☎51-7797 (水沢字高網)  
12日 こだま歯科クリニック ☎23-4181 (水沢羽田町駅南)  
19日 中田町歯科医院 ☎23-3415 (水沢中田町)  
26日 石川歯科医院 ☎47-3477 (水沢字大畑小路)

**奥州金ヶ崎夜間診療所** (水沢字多賀21-1・☎25-3935)  
【診療日】年中無休 【診療時間】18:30～21:00

**お知らせ**  
令和8年3月をもちまして日曜当番整骨院は終了いたしました。これまでご利用いただきありがとうございました。

**県救急安心センター** (☎019-656-1774または#7119)  
24時間・年中無休で救急相談ができます



お知らせ 福祉乗車券を  
交付します

障がいのある人を対象とした福祉乗車券の交付を4月1日(日)から開始します。

内種類…①小型タクシー(バス)乗車券、②リフトタクシー乗車券(利用条件あり)

対 次のいずれかの手帳がある人

- ①身体障害者手帳1級・2級、②同手帳3級(下肢障がいのみ)、③療育手帳A、④精神障害者保健福祉手帳 ※自動車税の減免を受ける人、施設入所者は除く

持障害者手帳、印鑑

問 本庁福祉課(☎34-2325)、各総合支所福祉担当グループ

ID 11839

イベント 家族茶話会ふわっと

お互いの悩みを共有しながら、気持ちを解きほぐしませんか。

時 4月23日、5月21日、6月18日、7月23日、8月20日、9月17日(全て日) 13時30分～15時

対 不登校やひきこもり状態の人の家族

¥ 200円(当日徴収)

申 開催日の5日前までに専用フォームか電話で申し込む

所 問 フラタネスクエア奥州(☎34-2533、水沢西町2-23)

ID 16133



お知らせ 令和8年度固定資産税  
に関する縦覧・閲覧

◎土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧

所有する土地や家屋の評価額を他と比較し、適正かどうか確認することができます。

期 4月1日(日)～30日(日)の平日\*

所 本庁税務課

対 固定資産税の納税者など

¥ 無料

◎固定資産課税台帳の閲覧

固定資産課税台帳(名寄帳)で課税内容を確認できます。

期 平日(年末年始を除く)

所 本庁税務課、各総合支所税担当グループ

対 固定資産税の納税義務者など

¥ 有料 ※縦覧期間中は無料

◎共通

持 運転免許証など本人確認書類

問 本庁税務課(土地係…☎34-2375)、家屋係…☎34-2376)

ID 2846

お知らせ 伊手地区センターが  
移転します

4月1日(日)から伊手地区センターが、旧伊手小学校(江刺伊手字西風102)へ移転します。

当面の電話番号は(☎090-9746-2340)です。利用できる部屋は、市ホームページをご覧ください。

問 本庁地域づくり推進課(江刺総合支所・☎34-1619)

ID 7037

お知らせ 令和8年度市民提案型  
協働支援事業補助金

地域課題の解決に向けて、市民公益活動団体が行う事業に補助金を交付します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

対 次の全てを満たした事業

▶福祉の向上・社会貢献などを目的とする公益的な事業

▶主な効果が市全体に生じる

▶対象が関係者のみではない

▶営利を目的としていない

▶市の他の補助を受けていない

※年度内に実施、完了するもの

申 4月1日(日)～24日(日)

問 本庁地域づくり推進課(江刺総合支所・☎34-1618)

ID 17753

お知らせ 住宅のエコリフォーム  
を支援します

住宅エコリフォームに補助金を交付します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

対 申請者が所有・居住する築10年以上の住宅で、市内に本店がある業者が行う断熱改修工事、エコ住宅設備設置工事

¥ 税抜き30万円以上の工事費の1/10を補助(上限10万円)

申 申請時点で未契約・未着工であることなどが条件。4月20日(日)から開始(先着順)

問 本庁都市計画課(江刺総合支所・☎34-1665)

ID 17749

◎奥州市役所・水沢総合支所

☎0197-24-2111 〒023-8501 水沢大手町一丁目1  
ホームページアドレス <https://www.city.oshu.iwate.jp/>



情報一覧はこちらから

◎江刺総合支所 ☎35-2111 ◎前沢総合支所 ☎56-2111  
◎胆沢総合支所 ☎46-2111 ◎衣川総合支所 ☎52-3111

時 日時 期 期間 所 場所 内 内容 対 対象 定 定員 料 料金 持 持ち物  
講 講師 申 申し込み 他 その他 問 問い合わせ ID HP・ID 検索用

募集 応急手当講習

詳しくはホームページをご覧ください。



◎普通救命講習I

時 所 ▶4月26日・金ヶ崎分署、

▶5月24日・衣川分署、▶6月28日・水沢消防署、▶7月26日・

胆沢分署、▶8月23日・前沢分署、

▶9月27日・水沢消防署(全て日) 9時～12時 ※9月27日は9時～11時(当日は実技のみ。事前にウェブ講習会を受講し、受講証明書の提出が必要)

内 心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去法、止血法

対 中学生以上 定 各25人

◎応急手当普及員再講習

時 8月16日(日)9時～12時

所 江刺消防署

対 既に応急手当普及員として認定を受けている人

◎共通

¥ 無料

申 開催日の2日前まで

問 奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部(☎24-7211)

お知らせ 中小企業者などの  
設備導入を支援します

対 ¥ ①中小企業者設備導入支援…市内の中小企業者(補助対象経費の1/2以内、上限200万円、下限50万円)、②小規模事業者設備導入支援…市内の小規模事業者(補助対象経費の3/4以内、上限50万円、下限7.5万円)

※1,000円未満は切り捨て

申 5月18日(日)～11月30日(日)

問 奥州商工会議所本所(☎24-3141)、前沢商工会(☎56-2105)

ID 17742

お知らせ 新幹線走行試験に  
ご協力を

深夜帯に走行試験を行います。

時 4月19日(日)、5月10日(日)、22日(日)、25日(日)、6月7日(日)、8日(日)、9日(日)、20日(日)、21日(日)、28日(日)、29日(日)、7月11日(日)、20日(日)、25日(日) 23時～翌日5時ごろ

問 J R 東日本盛岡支社経営戦略ユニット(☎019-625-4079)

# Information

インフォメーション

お知らせ 省エネ家電購入者に  
最大5万円を補助

市では、温室効果ガスの排出削減を目指すため、対象の家電を買い換えた人に補助金を交付します。申請書類などは、市ホームページをご覧ください。

期 6月1日(日)～9年1月29日(日)

対 ▶エアコン(2027年度または2029年度省エネ基準達成率100%以上のもの)、▶電気冷蔵庫(2021年度省エネ基準達成率100%以上のもの)

※6月1日～12月31日に、おうしゅうエコ事業所に登録している店舗で購入したものに限り

¥ 対象家電本体の購入費用(税抜き)最大1/3、上限5万円(100円未満は切り捨て)

他 予算上限に達した時点で受け付け終了。申請は1世帯1回、家電1台まで。申請時に古い家電の品質表示板や保証書の写しが必要。令和5年度以降に同じ補助金を受けた人も申請可

問 本庁生活環境課(☎34-2340)

ID 17736

広告

広告

## 各種相談日程 4月

### ①行政相談

会場	開催日	時間
本庁市民課総合相談室	10日(金) 24日(金)	13:00～15:00
江刺総合支所市民生活グループ	8日(木)	9:30～11:30
前沢総合支所市民福祉グループ	9日(木)	9:00～12:00
胆沢総合支所市民生活グループ	28日(火)	13:30～15:00
衣川保健福祉センター	9日(木)	13:30～15:30

### ②人権相談

会場	開催日	時間
本庁市民課総合相談室	2日(木) 16日(木)	
江刺総合支所市民生活グループ	14日(火)	13:30～15:30
前沢地区センター	2日(木)	
衣川保健福祉センター	9日(木)	
胆沢…次回6月10日(木)(胆沢愛宕地区センター)		

### ③消費生活相談

会場	開催日	時間
本庁市民課総合相談室	月～金	9:00～17:00 (受付は16:00まで)
各総合支所 「オンライン面談窓口」	月～金	9:00～16:00

### ④無料法律相談 要予約

会場	開催日	時間
本庁市民課総合相談室	8日(木) 28日(火)	10:00～16:00

※予約状況により翌月以降の開催日を案内する場合あり

### ⑤多重債務者弁護士無料相談 要予約

会場	開催日	時間
本庁市民課総合相談室	1日(水) 21日(火)	10:00～15:00

### ⑥くらしとお金の安心相談 要予約

会場	開催日	時間
本庁市民課総合相談室	15日(水)	13:00～16:00
江刺総合支所市民生活グループ	1日(水)	

### ⑦年金相談 要予約

会場	開催日	時間
江刺総合支所313会議室	9日(木)	10:30～15:30

### ▼問い合わせ・予約先

- ①～⑥ 本庁市民課総合相談室(☎34-2915)
- ⑦ 一関年金事務所(☎0191-23-4246)

### お知らせ 子ども若者支援相談・居場所の開設

#### ◎市子ども若者支援相談

ひきこもりなどについて、家族からの相談も受け付けます。

**時**毎週月火水金 9時～16時

**所**本庁子ども家庭課 ID 4706

#### ◎ひきこもり・ニートなどの若者の居場所「ほっと♡ひろば」

**時** 4月14日、21日、5月12日、19日、6月2日、16日、7月7日、21日、8月4日、18日、9月1日、15日(全て火)13時30分～15時30分

**所**水沢南地区センター

ID 14802、14833、13157

#### ◎共通

**問**本庁子ども家庭課(☎34-1585)

### 募集 江刺甚句大パレード参加団体

**時**5月4日(祝)17時15分～18時30分

**所**江刺六日町～大通り公園

**申**4月17日(金)までに、問い合わせ先にある申込書(市ホームページにも掲載)に団体名、参加予定人数、代表者の住所・氏名、連絡先を記入の上、ファクスまたはメールで申し込む

**他**衣装やブラカードなどを用意。練習用DVDの貸し出しあり

**問**江刺甚句まつり実行委員会事務局(江刺総合支所地域支援グループ内・☎34-1623、FAX 35-3476、✉matsuri@city.oshu.iwate.jp)

ID 12510

### お知らせ 春の狂犬病予防集合注射

犬の飼い主は、年に1度、4月から6月に狂犬病予防注射を受けさせることが義務付けられています。犬を登録済みの人には案内はがきを送りますので、忘れずに注射を受けましょう。

**期**4月4日(土)～5月16日(土)

※詳しい日程は、案内はがきか市ホームページを参照

**対**生後91日以上の子犬

**¥**①登録済みの犬…3,300円、②未登録の犬…6,300円(登録手数料3,000円を含む)

**他**案内はがきが届かない人、未登録犬の飼い主は要問い合わせ

**問**本庁生活環境課(☎34-2340)、各総合支所地域支援グループ

ID 17695

### お知らせ 4月献血日程

各会場の終了時間などは、市ホームページでご確認ください。

日付	時間	場所
5日(日)	9:30～	コープアテルイ
13日(日)	9:30～	市役所本庁舎
23日(木)	9:30～	江刺総合支所
26日(日)	10:00～	トライアル水沢上姉体店
30日(木)	9:30～ 13:30～	E C南部 ダイナム水沢店

**問**県赤十字血液センター(☎019-637-7201)

ID 284

### お知らせ ハザードマップ活用説明会

市ではハザードマップを改訂し、全世帯に配布しました。自宅付近の危険箇所や避難所などを確認し、災害に備えましょう。また今回の改訂に伴い、マップの活用説明会を開催します。

**時**所 ▶水沢…4月14日(火)18時30分～・市役所本庁舎3階講堂、▶江刺…4月19日(日)10時30分～・江刺総合支所多目的ホール、▶前沢…4月15日(火)18時30分～・前沢総合支所401大会議室、▶胆沢…4月16日(水)18時30分～・胆沢総合支所3階大会議室、▶衣川…4月21日(火)18時30分～・衣川保健福祉センター多目的ホール

**問**本庁危機管理課(☎34-2236)

ID 17754

### 募集 奥州湖水没林SUP※ツアー

**時**①体験会…5月4日(祝)、②水没林ツアー…5日(祝) ※両日10時～15時30分で予約制

**所**馬留池、奥州湖

**¥**①5,000円、②7,000円 ※市民は1,000円割り引き

**持**ウインドブレーカー、着替え、動きやすく濡れてもよい服など

**問**胆沢ダム水源地域活性化協議会(本庁アクティビティ推進室・☎34-1123)

ID 17756 ※スタンドアップパドルボード

### お知らせ 胆沢病院小児科の体制が変わります

来年度の院内体制変更に伴い、小児科は中央病院からの応援医師、非常勤医師で外来診察を行います。また、夜間や土日祝日は小児科の専門医は不在になります(受診はこれまで通り可能)。  
**問**胆沢病院地域医療福祉連携室(☎24-4121)

### 募集 市国際交流協会の語学教室

#### ◎英会話教室(初級)

**時**4月24日～8月21日の毎週金(全14回※第2金を除く)10時15分～11時45分

**定**20人(先着順) **¥**6,000円

#### ◎英会話教室(中級)

**時**4月28日～8月25日の毎週火(全14回)10時15分～11時45分

**定**20人(先着順) **¥**6,000円

#### ◎中国語教室(初中級)

**時**4月24日～の毎週金(全14回)19時～20時30分

**¥**5,000円

#### ◎イングリッシュ キンダーガーデン(年中・年長の幼児)

**時**4月～9月の第2回(全5回※8月を除く)10時～10時45分

**定**20人(先着順) **¥**4,000円

#### ◎共通

**所**水沢地域交流館(アスパア)

**申**問市国際交流協会(アスパア内・☎22-6111)

## information

### お知らせ マイナンバーカード 時間外・休日窓口

マイナンバーカードの申請や受け取りのため、時間外や休日に窓口を開設します。休日は事前予約が必要です。

#### ◎時間外窓口

**時**4月9日(木)、5月14日(木)17時15分～20時

#### ◎休日窓口(事前予約制)

**時**4月25日(土)、26日(日)、5月23日(土)、24日(日)9時～12時

#### ◎共通

**持**運転免許証など本人確認書類

**他**手続きには申請者本人が来庁すること。15歳未満の場合は、父または母の付き添いが必要

**所**問本庁市民課(☎34-2223)

ID 299

### お知らせ 春の大掃除で きれいなまちに

次の日程で春の大掃除を行います。地域の実情に合わせた形での取り組みをお願いします。

**期**▶水沢…4月6日(日)～12日(日)、▶江刺、胆沢…班回覧のチラシ参照、▶前沢…4月11日(土)、12日(日)、▶衣川…全戸配布のチラシ参照

**他**原発事故後、初めて側溝の土砂を清掃する地区は、事前に問い合わせ先へ連絡が必要

**問**本庁生活環境課(☎34-2341)、各総合支所地域支援グループ

ID 11634

広 告

広 告

▶日に日に暖かさが増し、春の息吹を感じる季節となりました。早いもので、今年度もまもなく終わりを迎えます。今年度も奥州市の四季や地域で取り組まれているさまざまな活動を広報誌で紹介することができました。取材にご協力いただいた関係者の皆さま、毎月お読みいただいている市民の皆さま、本当にありがとうございました。これからも市民の皆さまに寄り添い、地域の魅力を伝える広報誌づくりに努めてまいります。(中山)

▶今回の特集を担当しました。取材で出会った人たちの思いや挑戦に触れ、つながりと行動が地域を動かす力になることを実感しました。広報担当として、その思いや活動をつなぎ、伝えていけることに大きなやりがいを感じています。早いもので異動して1年。振り返れば、多くの学びや出会いに恵まれ、地域の魅力を届ける楽しさを感じた1年でした。これからも出会いを大切に、皆さんに寄り添う広報誌を目指していきます。(高橋七)

今月号の「#たろ活」



新しい奥州大使にお会いしてきたビン！これから市をいっぱいPRするらしいからミーも負けないビン！（関連:10-11号）



- 高瀬敏子さん(水沢)
- 佐藤壽男さん(水沢)
- 後藤ミヤ子さん(江刺)
- 菊池タマ子さん(江刺)
- 高橋アヤさん(胆沢)
- 鈴木松子さん(胆沢)

イベント 奥州宇宙遊学館

◎星空観望会

時 4月11日(日) 19時～20時30分  
内 お話「天頂儀ってなに?」、星空観望会「木星の位置を確認しよう①」  
¥無料

◎バロリ講演会「水沢観測所と啄木・賢治」

時 4月19日(日) 14時30分～16時  
講 森義真さん(石川啄木記念館前館長)  
¥無料 ※入館料別途

◎企画展「野辺山天文台展」

時 4月22日(日)～5月10日(日) 9時～17時(毎週4休館、29日からステッカーを先着100人に配布)  
¥無料 ※入館料別途

◎サンデースクール「メトロノームを作ろう」

時 4月26日(日) 14時30分～15時30分  
定 20人(先着順、要申し込み)  
¥100円 ※入館料別途

◎共通

所 申問 奥州宇宙遊学館  
(☎24-2020)



イベント えさし藤原の郷

◎平泉世界遺産登録15周年記念特別価格「映えすぎ! 平安」着付け体験

時 4月26日(日)、29日(水)、5月3日(日)～6日(水) ①9時20分～、②10時10分～、③11時～、④14時～、⑤14時50分～

※着付け後の散策は約1時間  
対 ▶壺装束(身長145㌢以上、胸囲100㌢)、▶狩衣(身長145㌢以上、腹囲100㌢まで)

定 各回3人(人数は応相談)  
¥1人5,000円(入場料別途)  
申 希望日の2日前までにホームページ特設サイトから申し込む

◎映えすぎ! 平安フォトグランプリ2026

園内全てを舞台とする新しいフォトグランプリです。

対 トリックアート平安の館・えさし藤原の郷(園内)の魅力が伝わる写真や動画(アプリなどで編集・加工した作品も可)

申 11月30日(日)までに、ホームページ特設サイトから申し込む

他 1月12日結果発表

◎共通  
問 歴史公園えさし藤原の郷(☎35-7791)



募集 男女共同参画推進委員会 公募委員

期 令和9年3月末まで  
対 市内在住で18歳以上の人(高校生や市が運営する他の審議委員になっていない人)

定 3人以内

申 4月15日(日)までに、問い合わせ先・各総合支所地域支援グループにある申込書(市ホームページにも掲載)に必要事項を記入の上、郵送、ファクス、メール、直接のいずれかで申し込む  
他 年3回程度平日日中に開催する会議に参加(1回当たり3,000円の報酬あり)

問 本庁地域づくり推進課(江刺総合支所・☎34-1618、〒023-1192 ※住所記載不要・FAX 35-7466、✉chiikidukuri@city.oshu.iwate.jp)

ID 9819

募集 衣川診療所 介護補助員

期 令和9年3月末まで

所 衣川診療所

内 ▶業務…病棟介護補助業務、▶勤務時間…17時～翌日8時30分(週1～2回)、▶給与…月額11,660円

対 介護補助員 定 1人程度

申 4月30日(日)までに、市販の履歴書に必要事項を記入の上、直接申し込む(未経験者も可)

問 衣川診療所(☎52-3500)

募集 市教育振興基本計画 策定委員

期 令和8年5月ごろから9年3月ごろまで

対 市内在住で18歳以上の人(高校生を除く)

定 2人以内(選考あり)

申 4月22日(日)までに、問い合わせ先か市教育委員会各支所にある申込書(市ホームページにも掲載)に必要事項を記入の上、郵送、ファクス、メール、直接のいずれかで申し込む

他 年3回程度平日日中に開催する会議に参加(1回当たり3,000円の報酬あり)

問 市教育委員会事務局教育総務課(江刺総合支所・☎34-1319、〒023-1192 ※住所記載不要・FAX 35-7551、✉kyouikusoumu1@city.oshu.iwate.jp)

ID 17744

募集 古文書読解学習会

時 ①入門(基礎)コース:第2・第4(土)14時～16時、②研究コース:第2・第4(水)13時30分～15時30分

※両コース5月から9年3月まで(全18回予定)

所 江刺生涯学習センター

定 10人

¥各コース年会費3,000円

申 問 江刺古文書の会(担当:菊池、☎080-5562-9519)

お知らせ 農用地区域からの除外・編入申し出

市は、農業上の土地利用を確保するため、農用地区域を定めています。この区域内の土地を農地以外に利用する場合は、農用地区域から除外する必要があります。反対に基盤整備事業などを行いたい場合は、農用地区域への編入が必要です。

次のとおり除外・編入の申し出を受け付けますので、計画がある人はご相談ください。

期 4月20日(日)～5月29日(金)

他 ▶協議の結果認められない場合あり、▶決定までの期間は10カ月程度、▶農地の場合は別途農地転用許可が必要

問 本庁農政課(☎34-1582)、各総合支所地域支援グループ  
ID 1066

イベント 第49回 奥州前沢春まつり

時 4月19日(日) 10時～16時30分 ※雨天決行

所 前沢ふれあいセンター駐車場、前沢総合支所周辺

内 前沢地域厄年連による創作演舞、地域団体による演舞・演技・演奏、屋台出店ほか

他 会場周辺に駐車場なし。公共交通機関などを利用

問 前沢まつり実行委員会事務局(前沢商工会・☎56-2105)

ID 10717

広告

広告

# キラリ、輝く奥州人

## 40年の歴史を背負い

### 主役がつなぐ伝統と未来

三田 智修 さん (47歳・水沢)



主役の吾郎を演じる智修さん。「しるし半纏はんてん」のテーマにもなった「承継」を大切に、奥州胆沢劇場の魂をこれからもつないでいく

今年で40回目の公演を迎えた奥州胆沢劇場（関連12〜13ページ）。三田智修さんはその記念すべき節目の公演で主役を演じ、観客を魅了した。

初めての舞台は平成30年。所属しているYOSAKOIチーム「飛勇凜」のメンバーから誘いを受け、せりふのないエキストラとして舞台を踏んだ。そこから演じることの楽しさ・奥深さに気付き、演劇の世界へのめり込むようになる。

3度目の出演となる今回、初めて主役に抜擢ぼつてきされたという節目のプレッシャーが、重くのしかかったが、「自分を試してみたい」という強い気持ちで智修さんを奮い立たせる。会社員として働きながら、週6日の稽古に参加するのは過酷だった。それでも、未経験の消防団員役を経験者から熱心に学び、自分で録音したせりふを、隙間時間に何度も聴き返し、役作りに没頭した。

そして、迎えた本番。客席から聞こえた笑い声や、すすり泣き。「伝わった——」あんど「安堵感と感謝の念で胸がいっぱいになった。」「台本読みに付き合ってくれた妻、夜遅くまで稽古に付き合ってくれた共演者や裏方の皆さん。多くの人に支えられ演じ切ることができた。みんなで作り上げた舞台だ」と拍手を浴びながらかみ締めた。

「先輩たちが築いてきた伝統をつないでいきたい」と熱いまなざしで未来を見つめる智修さん。歴史を紡ぐ一員として、これからも多くの人の思いを背負いながら舞台に立ち続けていく。

広 告

OSHU

広報おうしゅう  
VOL.241

2026

4

令和8年3月26日発行

発行/奥州市〒023-8501 奥州市水沢大手町一丁目1番地  
電話/0197-24-2111 印刷/あへ印刷株式会社

UDFONT